

◎令和2年度教職員の働き方改革の方針について

【教育政策課】

1 目的

教育現場の限られた時間の中で、子どもと向き合う時間を十分に確保するとともに、教職員の日々の生活の質や教職員の人生を豊かにし、心身ともに健康で職務を遂行すること。

タイムマネジメントを意識し業務改善を図りながら教育の質を向上させるとともに、時間外勤務時間の減少を図り、本市が目指す横須賀の子ども像である「人間性豊かな子ども」を育成すること。

2 本市の課題

- (1) 小中学校の教職員の多くが、勤務時間を超えての長時間勤務であること。
- (2) 管理職は、勤務時間内外において、保護者・PTA対応や地域対応等に時間がかかること。
- (3) 教頭が行っている学校経営に関わる業務や事務は多岐にわたり、校種等を踏まえた改善が必要であること。
- (4) 部活動指導に、多くの時間をかけざるを得ない状況にある教員もいること。
- (5) 在校している時間の記録により、教員の勤務時間への意識は向上しているが、いまだに様々な業務を行わなくてはならない環境にあること。

3 本市の方針

- (1) 学校及び教職員が担う業務の適正化と明確化
- (2) 在校している時間の減少と健康管理を意識した働き方の促進
- (3) 地域と学校が一体となる学校教育への理解促進
- (4) 取組を見直す体制作りと今後の検討

4 教職員の働き方改革の取組(下線部は重点取組 ★は令和2年度の拡充取組)

- (1) 学校及び教職員が担う業務の適正化と明確化
 - ①業務改善に向けた取組と分析、サポート体制の整備
 - ★②時間外勤務時間を減少するための効果的な取組の検討・実施
 - ③授業時数の整理と行事の精選
 - ④学校事務職員の学校運営への参画

- ⑤資料の共有化
- ⑥横須賀市が設置する学校に係る部活動の方針の実施
- ⑦部活動指導員の配置・運用
- ⑧照会等の精査
- ⑨依頼事項や配布物の調整
- ⑩最適な研修体系や行事の構築

(2) 在校している時間の減少と健康管理を意識した働き方の促進

- ①働き方改革の視点を踏まえた学校経営
- ②在校している時間などの記録を生かした取組の推進
- ★③学校閉庁日の設定（2日から4日へ）及び
新たに市制施行記念日を休業日にすることによる年次休暇の取得等の促進

(参考)

「横須賀版キッズウィーク」は、市制施行記念日を休業日とすることに合わせ
て時期を変更

令和元年度 令和元年10月19日（土）～11月11日（月）

令和2年度 令和3年2月11日（木・祝）～2月15日（月・休業日）

※「プレ・キッズウィーク」は、令和元年度と同様ゴールデンウィークに実施

- ④マネジメント研修の実施
- ⑤ストレス緩和に向けた取組の検討

(3) 地域と学校が一体となる学校教育への理解促進

- ①地域・保護者への理解促進と啓発
- ②市立学校の体育施設及び文化施設の開放に係る業務改善

(4) 取組を見直す体制作りと今後の検討

- ①教職員の働き方改革に関わる運営組織の設置
- ②教職員の働き方改革推進に向けた調査、検討、実施
- ③神奈川県教育委員会との連携